

令和2年度事業報告

1 事業の概要

第2次「鈴鹿市文化振興ビジョン」を指針として、文化芸術事業を企画実施しました。

第2次「鈴鹿市文化振興ビジョン」重点施策

1. 文化にふれるまち
2. 音楽のまち
3. 子どもが元気なまち

世界規模で蔓延する新型コロナウイルスがもたらす影響は非常に大きく、例年行っている様々な企画、イベント、セミナー等の開催中止が相次ぎました。政府、県、市より出される指針を基に、イベントの内容を精査し、状況に応じて可能な事業を進めてきました。

日々変わる見解の中、新しい生活様式に合わせ、今年度は動画の制作、密を避ける小規模事業を実施しました。またフィールドを地域へ広げ、各地域に眠る文化の掘り起こしに力を入れました。「市民シアター」では、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、公益社団法人全国公立文化施設協会が示す「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った対策を講じ、「野村萬斎狂言の現在 2021」など実施することができました。また「津軽三味線☆三絃士コンサート」では、当財団初となるコンサートのインターネット配信を行いました。

市の文化振興事業を受託して実施する「第29回鈴鹿市文芸賞」は、市民の方々の創作意欲を高める取組として実施いたしました。しかし「第53回鈴鹿市美術展」は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、次年度へ延期となりました。代替事業としてCNSと協力し、美術展の啓発番組を制作し放送いたしました。

2 公益目的事業

(1) 市民シアター

【クラシック系音楽公演】 (6公演実施・1公演中止)

① 「鈴鹿市公民館 Presents ミュージック・ガーデン 2020」

鈴鹿市地域協働課と公民館の協力を得て、4年目となる「ミュージック・ガーデン」を実施しました。地域の方に気軽に間近で本格的なコンサートを楽しんでいただきました。当初予定していた、牧田公民館は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。

【講演会】 (1 公演中止)

① 「ゲッターズ飯田開運トークライブ」

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

【軽音楽系公演】 (2 公演中止)

① 手寫葵 Concert2020

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

② 「鈴ゴス&The Continental Family Xmas Concert」

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

【伝統芸能公演】 (2 公演実施・1 公演中止)

① 「野村萬齋 狂言の現在 2021」

連続 8 回目となる狂言講演。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、客席を 50%に減らし、検温やアルコール消毒等、最大限の注意を払い、実施しました。

② 「津軽三味線☆三絃士」コンサート～BEGINNING～

鈴鹿市出身でときめきドリーム大使である伊藤ケイスケ氏を中心に、文化会館けやきホールで実施。初の試みとして、ライブ映像をインターネットで配信しました。なお客席は 50%に減らし、実施いたしました。またこの事業で文化庁より「文化芸術活動の継続支援事業補助金」をいただきました。

③ 「けやき寄席」立川談春独演会

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

【親子・子ども向け公演】 (1 公演実施・1 公演中止)

① 「こどもフェスティバル 2020」

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

② 親子で楽しめる「観る童話」

3つの劇団による、大人も子供も楽しめる「童話」を元にしたお芝居。本来舞台上に客席を設け、近くで楽しめる企画であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、舞台上の客席を取りやめ、通常客席の 50%に減らし、検温やアルコール消毒等、最大限の注意を払い、実施しました。(公財)岡田文化財団助成事業。

(2) 共催事業 (1 事業実施・3 事業中止)

① 劇団わらび座 ミュージカル 松浦武四郎

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

② 「合唱フェスティバル in 鈴鹿 2020 早春コンサート」(合唱フェスティバル実行委員会共催)

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

③ 「第 15 回白子高校創作ミュージカル『鈴鹿の偉人大黒屋光太夫』」

(三重県立白子高等学校共催)

《白子高校の指導者が急病となり、中止となりました》

④ 輝け中学生!!～ステージで奏でよう～(鈴鹿地区吹奏楽研究会共催)

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、様々な発表の場がなくなりました。そのような中学生の集大成の場を作るためにイスのサンケイホール鈴鹿で保護者のみ来場可として実施しました。

(3) 文化工房

【鈴カルカレッジ】(2 講座実施・8 講座中止)

① 「鈴カルカレッジ 2020」

文芸コース 1 講座、芸術コース 2 講座、音楽コース 3 講座、生活文化コース 2 講座を新型コロナウイルス拡大感染防止の為中止と致しました。

② 「鈴カルカレッジ 2020 《放送セミナー》」

- ・「松阪木綿&伊勢型紙」～誰もが愛した縞柄の世界～
- ・「聖武天皇と伊勢国分寺」～国の安泰を願って～

家に居ながら楽しく学ぶことを目的に、年間 2 本の番組を制作しました。令和 2 年度の 1 本目は松阪木綿の縞柄の魅力の紹介。2 本目は鈴鹿市内の国分寺の遺跡より当時の鈴鹿市の様子を読み解く番組を制作しました。

【アウトリーチ・ワークショップ】(1 講座実施・3 講座中止)

① 劇団 F's Company 劇作家による「戯曲講座」

「観る童話」のイベント。参加者の実体験や日本の昔話を題材に戯曲を制作していく過程を伝え、戯曲についての理解を深めるワークショップとなりました。

② ゴスペルワークショップ 2020

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

③ 音まきアウトリーチ

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

④ 演劇アウトリーチ

《新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました》

【動画配信】(2 事業実施)

① YouTube 配信

新型コロナウイルスの影響で、鑑賞事業、学習事業をお客様を一堂に集め行うことが難しい状況下で、新たな試みとして動画を制作し発信しました。YouTube へ 4 本の動画を作成しアップしました。

② 吹奏楽フェスティバル特別番組

「～音楽の街鈴鹿～吹奏楽で再会の音を奏でる」

令和元年度、新型コロナウイルスにより中止となった吹奏楽フェスティバルに出演予定だった各団体と市内法人協賛企業の協力の元、「コロナに負けるな」をテーマにしたメッセージの発信。各団体の吹奏楽を奏でる過去の映像等をまとめ1本の番組を作成しました。

【子供向け学習事業】(1 事業実施)

①上原園長の移動動物園

彫刻家上原正廣氏が制作した動物彫刻を、新型コロナウイルスの影響で、園内行事が次々と中止になっていた、市内の幼稚園、保育園で彫刻動物園の出前事業を実施しました。

(4) 鈴鹿市受託事業

①「第53回鈴鹿市美術展」

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。この中止を受けて、ケーブルネット鈴鹿と共に、特別番組「STAY HOME WITH ART～6通りの楽しみ方～」を製作しました。6部門それぞれ、趣向を凝らした番組を制作しました。放送後の現在も鈴鹿市のHPで視聴できます。

②「第29回鈴鹿市文芸賞」

一般部門では散文(小説・評論等、エッセイ、アフォリズム)、短詩型文学(詩、短歌、俳句、川柳)で93作品、ジュニアの部では散文と短詩型文学合わせて970作品の応募がありました。市内外で長年活躍されている選考委員を中心に審査を行い、各ジャンルで最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定しました。贈呈式は新型コロナウイルス拡大感染防止対策の為後半部分の朗読会を中止と致しました。受賞作品は文芸誌「市民文化2021」に掲載して一般の方に販売しました。

また文芸賞選考委員の先生方にコロナ禍で文化活動が難しかった6月に配架しました広報誌「けやき」に緊急メッセージ「みんなでこの状況を乗りこえよう」をテーマに寄稿文を執筆していただきました。

(5) 広報事業

広報媒体として文化情報紙「けやき」を年間9回(各回78,050部)発行し、市の「広報すずか」への折込や、県内の主要公共施設等へ配布・配架しました。また、事業ごとのチラシ、ポスターも作成しました。三重県全域及びラジオ聴取者への情報提供としてFM三重でのスポットCMも行いました。ホームページは更新をこまめに行い、最新の情報の提供に努めました。

3 施設管理事業

現在、当事業団は施設の管理運営を実施しておりませんが、指定管理者制度が導入される場合に備えて検討をしてきました。令和2年度は施設管理運営の研究と人材育成を進めるため

に、他の公益財団へのヒアリングや施設管理業務に関する研修を行いました。

4 収益事業

令和2年度は収益事業の実施はありませんでした。

5 法人事業

理事会を4回、評議員会を3回（みなし、臨時を含む）開催しました。法人強化の観点より、セキュリティポリシーを作成いたしました。また次年度作成するBCP、基本計画の策定に向けて準備をまいりました。

6 事業準備金

公益財団法人としての役割を果たすために以下の事業準備の積立を行いました。

【事業団25周年記念事業積立資産】 ￥1,000,000